

2学期期末考査が終了しました。皆さんお疲れさまでした。計画通りに学習できましたか？自分が努力した成果を発揮できましたか？ほんの少しだけ、一息ついて、体と心を休めたら再スタート！充実の3学期に向けて、はりきっていきましょう！！

12月10日(水)、17日(水) 1学年 英語GTECテストについて

英語科では、来年度より1学年、2学年で、GTEC(Global Test of English Communication)の実施を計画しています。このテストは、現在多くの中学、高校、中高一貫校において実施されており、「読む」「聞く」「書く」(課題作文)の3技能をスコア型の絶対評価で測定します。スコアレポートと各自に応じたCD付きの教材も提供されます。

年に1回(12月期末テスト後を予定しています)、2年間受けることで各技能の伸びを計ることができ、多くの大学・短大の推薦・AO入試でも英語検定と同様にスコアを活用することができます。(この点がスタディサポートや、進研模試とは異なる点です)

今年度は来年度導入を前提に、1年生は無料でフィールドテストと呼ばれるテストを受験することになりました。フィールドテストはいわゆるサンプルテストのようなものですが、通常の有料の受験と同じようにスコアも出ますし、付属教材もつきます。来年受験した場合は今回からのデータ推移も見る事ができます。

フィールドテストは無料ですが、10日間間に2回実施することが条件ですので、今年は下記の日程で実施します。積極的に取り組みましょう。

1回目	12月10日(水)3, 4限	90分
2回目	12月17日(水)6, 7限	90分

GTEC for STUDENTS 教材概要



特徴 入試はもちろん、高校卒業後も使える英語力を育むために

実績 中高生対象のスコア型英語テストでNo.1の受検規模

- 「読む」「聞く」「書く」の3技能をスコア型の絶対評価で測定
- 日本の中高生の英語力を測るのに適した問題内容(P10~参照)
- 詳細な教師用帳票(P16~参照)とスコアレポート(個人成績表)(P22~参照)
- 生徒のライティング答案は海外で採点・添削(P24~参照)
- 生徒一人ひとりにCD付きの付属学習教材を提供(P26~参照)

13年度受検者数 66万人

GTEC入試 多くの大学・短大の推薦・AO入試で、GTEC for STUDENTSのスコアが活用されています。

※(ベネッセ作成の教材資料より)

検定にチャレンジ！！

期末考査も終了し、今学期に予定されていた行事などもすべて無事に終わることができました。さて、そこで皆さんにお勧めしたいのが、各種検定への挑戦です。

3学期には下記の通り検定が予定されています。詳しくは後日各教科から示される案内を見てください。

検定	期日	会場*	受験級	申込み
漢字検定	1/16(金)	常盤高校	2級、準2級	12/11(木)、12(金)
英語検定	1/25(日)	未定	準2級	

* 会場は申込者の人数によって決まります。

各種検定の上位級に合格していれば、たとえば、就職の時の「履歴書」の資格・特技欄に記入することができますし、推薦入試やAO入試でも評価されることがあります。(もちろん、資格を持っていれば合格できるという話ではありませんので、勘違いしないようにしてくださいね。)

それだけではありません、漢字でも英語でも合格に必要なのは、それぞれの言語の語彙力(=理解して知っている言葉の総数)と、その言葉を運用する力です。ですが、よく考えてみると、このふたつの力は、各教科の力や成績を伸ばすためにも必要ですよ。

と、いうことは、検定に向けて目標をもって勉強することで語彙力と言葉の運用能力が高まると、教科の成績も伸びる(可能性が高い)ということなのです。

なんて書くと、「よし、じゃあ、受けるか。でも、とりあえず2年になってからでいいや。」なんて思う人が96人くらいいそうですね。正直、それ、遅いです。2年生になれば教科の学習内容も豊富になりますからね。期末考査も終わり、学校行事も落ち着いてきた今が受検のチャンスなのです。

資格は、「あなたががんばったことの証明」です。どんなに努力して「私、がんばりました！！」と主張しても、なかなか周りの人は認めてくれません。ですが、「私、がんばりました！！その結果として、〇〇検定の2級に合格しました！！」と主張すれば、周りの人はあなたのがんばりを認めてくれるはずですよ。

今回のまとめ

- ① 資格・検定は入試や就職で有利なることがある。
- ② 資格・検定の勉強で教科の基礎力を伸ばすことができる。
- ③ 資格・検定は「あなたの努力」の証明になる。



コラム 携帯電話の話。その2

えーっと、今回のお話はあらかじめお断りしておきますが、「今学年で困っている人がいる」とか、「問題になっている」とかという理由で掲載するものではありません。たぶんみんなきちんとマナーを守っているのかもしれませんが、念のため、の確認です。

私達高校の教員が突然、授業中に自分のケータイを取り出して、「じゃあ、今日は〇〇さんを撮ります！ えいっ！ ピロリーン！」とかってやったら嫌ですよ。 (絶対しませんが。) さらに、「うーん、うまく撮れたから、ネットにアップしときます。みんなフォローしてね！」とかって言ったら、これまた絶対嫌ですね。 (これまた絶対にしませんが。) さらにさらに「今日は、動画にしま〜す！」とかっていって撮影したら、さらにさらに嫌ですね。 (いや、だからしないってば。絶対。) さらにさらにさらに「うーん、うまく撮れたから動画サイトに……」……しつこいね。

カメラがケータイと一体化して、あまりにも身近になりすぎたせいで誰も気にしなくなりつつありますが、人には「自分のことを勝手に写真に撮らないで権」があります。「肖像権」なんて言います。情報の時間に習いましたね。

こんな風を書くと「勝手にじゃなければいいのか。」なんて思われがちです。「相手が嫌がっていないければいいのか。」なんて。

でも「相手が本当に嫌がっているかどうか」なんて、どうやって判断しますか？ 「OKだよ。」って言っているあの人の、「OKだよ。」が「本当にOK」なのか、それとも、「本当は嫌なんだけど、断ったら怒らせてしまうかもしれないからOK」か、あなたは どうやって判別しますか？

判別できないですね。そんなこと。とってもとって仲良くなって、本当に親密な間柄になって、相手の気持ちはだいたい想像できるような間柄にならないと、そんなことできません。 (そんな間柄になったところで、絶対にコミュニケーションの行き違いは生じます。そこを埋めていくことが本当の「人間関係づくり」だと思えます。)

だから、**写真なんて、そんなにむやみやたらに撮るものじゃない。**ましてや、人が困っているところとか、撮られたら嫌だと感じるだろう姿とか、そんなものは撮るものじゃない。もちろん、それを勝手にインターネット上にアップするなんてもってのほかです。

楽しい瞬間は、記憶に残そうよ。カメラアプリを立ち上げている瞬間に、あなたはいま、最も楽しい瞬間を見逃しているかもしれない。

……なんて、なんか、今回は、ラストがかっこいい。

